群馬県
難聴児早期支援センター

ニュースレター NO.1　2026.7

群馬県難聴児早期支援センターは、2026（令和8）年７月７日に開設しました。
開設に先立ち、県内全市町村を訪問し、障害福祉担当課や保健センターの皆様からご意見をうかがいました。
たくさんのご意見、大変参考になりました。
困っていることとして、市町村の皆様から多く聞かれた内容をご紹介します。

医師の話は、保護者に入りやすい。
「片耳が聞こえていれば大丈夫」と言われれば安心してしまう。
あまり心配しないようにとの保護者への配慮で話したのだと思うが、伝え方が難しい。

難聴児との関わりが少ない。難聴児への対応について経験がない。
補聴器、人工内耳を装用している子どもの支援について、園等から質問されても答えに自信がない。

3歳児健診は指こすり音やささやき声をもとにしたアンケートの回答など、保護者任せ。正しくきこえの確認ができているか心配。
簡単にきこえが確認できる機器があるとよい。

近くに3歳児検診後の受け入れ先（耳鼻科）が少ない。
大きな病院を勧めると、保護者に「じゃあ、いいです」と言われる。



相談したくても前橋までは遠い。そのままにしてしまうことがあるかもしれない。
出向いてくれれば相談しやすい。

きこえを確認する機器については、耳鼻科医や言語聴覚士と検討中です。

保護者に限らず、関係の方々のご相談にも対応いたします。
お子さんのきこえに関するご相談がありましたら、難聴児早期支援センターへご連絡ください。

群馬県難聴児早期支援センター
〒371-0803　前橋市天川原町1-4（聾学校内）
電話：027-212-0157
mail：nanchoji-shien@pref.gunma.lg.jp